

がん患者さんにご家族のための

ピア・サポーターズ サロンちば

がん経験者であるピア・サポーターが「仲間」として患者さんやご家族の悩みを聞いたり、体験をお話する場です。少人数でお話しやすい雰囲気です。

申込み不要。
開催時間内のご都合のよい時間にお越しください

開催日:平成30年1月20日(土)

時間:午前10時~午後3時

開催場所:東京慈恵会医科大学附属柏病院

外来第1第2会議室(柏市柏下163-1)

JR常磐線 北柏駅南口バス停 慈恵医大柏病院行終点下車(約5分)

JR常磐線 柏駅東口3番バス停 慈恵医大柏病院行乗車(約15分)

参加するピア・サポーターの略歴とメッセージの一部です
(都合により参加者が変更となる場合がありますので、ご了承ください)

直腸がんで手術。再発しましたが治療を経て20年以上元気です。ストーマは不便ではありませんが、工夫次第で支障なく生活できます。
(70代男性、直腸がん)

仕事と育児に邁進していた30代に乳がんの告知を受けました。仲間としてひと時の時間を共有いたしましょう。お待ちしております。
(40代女性、乳がん、大腸がん)

同時期に夫は肺がん、私は乳がんの手術を受けました。ひとりで悩まないでお話も聞かせてください。
(60代女性、乳がん)

絨毛がんを経験しました。再発を繰り返しましたが、現在は仕事に復帰しています。
(30代女性、絨毛がん)

乳がんと同時に患ったくも膜下出血のため、障害者になりました。3年後には卵巣がんにもなりましたが、苦しんでいるのは自分だけではないと病室の仲間が気づかせてくれました。現在も仲間と囲まれ元気と勇気を貰っています。
(50代女性、乳がん・卵巣がん)

がんになるということはマイナス部分だけでなく、自分の生活を見つめ直す良い機会だとも感じました。私は「がんと共に生きて行く」と思えた時から楽になりました。お話をすることで生き方が少し楽になるかもしれません。
(70代女性、甲状腺がん・大腸がん)

乳がんと肺がんで、手術、抗がん剤、放射線治療、ホルモン療法を経験。再発やリンパ浮腫を乗り越えて今でも仕事をしていられるのは、話を聴いてくれる「仲間」がいたから。あなたも胸のうちの苦しさを分け合ってみませんか。
(70代女性、乳がん・肺がん)

お問い合わせ

東京慈恵会医科大学附属柏病院 がん相談支援センター 04-7164-1111 (代表)
04-7167-9739 (直通)

千葉県地域統括相談支援センター 043-264-5431 (内線2530)